

# パリ協定に基づく成長戦略としての 長期戦略策定に向けた懇談会

略して

## パリ協定長期成長戦略懇談会

っというながーい名前の懇談会があります。  
2019年4月2日に提言をまとめたんですが、そこから原発について抜き出すと。。。

### 提言

(参考資料① p.11)

現在、日本は再生可能エネルギー、蓄電池、水素、**原子力**など、非常に幅広い技術的選択肢を持っているが、長期的にもエネルギーに関する選択肢は多く持つておくことが必要である。

(参考資料① p.11)

今後、水素の役割が飛躍的に重要になることから、水素社会の実現に向けて、水素の安定的・持続的な生産・供給確保を行うべきである。加えて、省エネルギー、再生可能エネルギー、**原子力**、CCS・CCUを含め関連する技術についてあらゆる選択肢を追求していくべきである。

CCS：二酸化炭素の回収・地下貯留 (Carbon dioxide Capture and Storage)  
CCU：二酸化炭素の回収・利用 (Carbon dioxide Capture and Utilization)

(参考資料① p.13)

「3E+S」のバランスを確保したエネルギー転換のためには、エネルギー基本計画に基づき、あらゆる選択肢を追求する「エネルギー転換・脱炭素化を目指した全方位での野心的な複線シナリオ」を採用するとの方針を踏まえつつ、経済的に自立し脱炭素化した再エネの主力電源化を目指す。**原子力については、可能な限り原発依存度は低減しつつも、バックエンド対策、立地対策や規制対応、技術開発を含め、安全性確保を大前提とした原子力の活用についての議論が必要である。**

3E+S：安定供給(Energy security)、  
経済性(Economical efficiency)、  
環境(Environment)、  
安全(Safety)

この懇談会がナニモノかという。。。

## 2018年6月4日 未来投資会議

### 安倍内閣総理大臣発言

(参考資料② p.9)

パリ協定に基づく長期戦略策定に向け、金融界、経済界、学界など各界の有識者にお集まりいただき、これまでの常識にとらわれない新たなビジョン策定のため、有識者会議を設置するとともに、その下で、関係省庁は連携して検討作業を加速してほしい

パリ協定：2016年11月4日に発効した、2020年以降の地球温暖化対策の国際枠組み  
(アメリカは離脱を発表)

この総理指示を受けて『長期戦略に関する基本的考え方について議論する』ために  
内閣総理大臣の下に開催 (参考資料③)

### メンバーは？

(敬称略、50音順) (参考資料③)

内山田 竹志 トヨタ自動車株式会社代表取締役会長

枝廣 淳子 大学院大学至善館教授

有限会社イーズ代表取締役

北岡 伸一 東京大学名誉教授

独立行政法人国際協力機構理事長

進藤 孝生 新日鐵住金株式会社代表取締役社長

隅 修三 東京海上ホールディングス株式会社取締役会長

高村 ゆかり 東京大学国際高等研究所サステイナビリティ学連携研究機構教授

中西 宏明 一般社団法人日本経済団体連合会会長

水野 弘道 国連責任投資原則協会理事

年金積立金管理運用独立行政法人理事兼CIO

森 雅志 富山市長

安井 至 東京大学名誉教授

元国際連合大学副学長

一般財団法人持続性推進機構理事長

### 最後に一言

提言ではいろんなことを言っていますが、「原発」については、どこが『これまでの常識にとらわれない新たなビジョン』につながる基本的考え方なんだか、さっぱりわかりません。

曰く、  
エネルギーの選択肢に「原子力」は入れておくべきで、  
『可能な限り原発依存度は低減しつつ』『原子力活用についての議論が必要』

今まで言ってることと何も変わりません。相変わらず日本語としてもどうかしてるまま。  
やっぱり、「なぜ」『原発依存度は低減』しなければいけないのか？これをはっきりさせないとい  
けないと思います。

根拠もない言いつ放しの提言なんて  
何の意味もありません。

#### 参考資料

- ①首相官邸HP パリ協定期長成長戦略懇談会「決定」  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/parikyoutei/>
- ②首相官邸HP 第17回未来投資会議「開催要領・議事要旨」  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/miraitoshikaigi/>
- ③首相官邸HP パリ協定期長成長戦略懇談会「設置根拠」  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/parikyoutei/>